

バリ舞踊の表現法について

お茶の水女子大学では、国際通用性を高めることに重点を置いたファカルティ・デベロップメント【Faculty Development、FD】(授業改革のための取り組み)を実施しています。

平成25年11月6日(水)に「第13回FD講演会」を開催いたしますので、是非とも皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

インドネシア国立芸術大学デンパサール校からイ・ニョマン・チェリタ氏を招聘し、バリの伝統的な舞踊と新作(創作)舞踊の表現方法の違い、特に舞踊にはかかせない、表情の表現方法について、解説していただきます。ご自身による舞踊の基本的な動きの実演を交えながら、また、踊りの映像を見ながら、バリ舞踊に特有な所作や動きの意味などについても解説していただきます。

英語での講義が初心者の方でも受講できるよう、日本語通訳のサポートのもとで開講いたします。皆さまの参加をお待ちしております。

*お茶の水女子大学とインドネシア国立芸術大学デンパサール校(ISI Denpasar)は2013年度、学術交流協定を締結しました



◆講師紹介



イ・ニョマン・チェリタ氏
(I NYOMAN CERITA)

1961年 インドネシアバリ島シンガパドウ(Singapadu)生まれ
1989年 インドネシア国立芸術大学デンパサール校(STSI)卒業
2005年 MFA UCLA LOS ANGELS USA 大学院修了
1990年よりインドネシア国立芸術大学デンパサール校(ISI Denpasar)舞踊科教授
現在、同大学舞台芸術学部舞踊科長

バリ島における地域活動、指導、審査員、振付のほか、日本、アメリカ、ドイツ、スウェーデン、フランス、ポーランドなどで公演、ワークショップを行うなど、国内外で活躍中。
数多くの舞踊を創作し、代表作に、サティオブラスタ(Satya Brasta)やトランスレゴン(Trans Legong)などがある。

開催日：11月6日(水) 18:30～20:30

場 所：共通講義棟1号館304室

対象者：教員、附属教員、職員、学生
興味のある一般の方

申 込：不要(直接会場へお越しください)

<会場案内>

